

業務部速報

No. 45

発行 14. 1. 21

JR東労組 業務部

申1号

第3回交渉

第29回定期大会発言に基づく申し入れ

第7項 各支社のローカル線の相次ぐ自然災害対策に、適正な予算をつけること。また、倒木や土砂崩壊等が危惧される場合は、試運転列車の設定や徐行運転を実施するなど安全対策を講じること

【確認事項】

- 事故・事象等への対応も重要だが、未然に防ぐために計画的にメンテナンスを実施していく
- 計画的に進められるように適正な予算確保、予算執行時期を継続して検討していく
- 運転再開時には、お客さま・乗務員の安全を守ることが第一！十分に安全が確保される体制、必要な点検を実施していく

営業列車での安全確認はやめるべきだ！
地方ローカル線にも予算をつける！

第8項 北陸新幹線金沢延伸及び東北縦貫線開業に伴う現業機関等及び社員の異動のあり方を前広に提示し、組合員の不安解消と開業に向けた準備を行うこと。

●組合員の不安解消に向けて努力していく。責任ある情報を出せる時期に出していく

関係する地本・支社間で不安解消に向けた議論をしていくこと！
情報が遅い！スピード感を上げるべきだ！
施策の内容からすると大きな問題！地方の問題ではなく、本部・本社間でも議論していく！

第9項 ワンマン列車については、乗車人員・時間帯を考慮し、ツーマン運転を行うこと

【ワンマン列車の定義を再度確認！】

- 日中帯を基本とし、お客様の利用が少ない定期列車で、各支社にて判断するもの
- 乗車率等の基準はなく、安全に乗降できることを運転士が確認できる状態であること

【確認事項】

- ワンマン列車の具体的な設定は支社で決定しており、本社指示でない事を確認！
- お客様の実態に沿ったワンマン列車設定の見直しは支社でできることを確認！

地方議論で「本社が…」は理由にやらないことを確認！

現実にはワンマン化によりお客様に迷惑をかけている！乗務員にも負担がかかっている！必要な体制をとることを要請！

第10項 車掌試験合格後の車掌登用時期については「労働条件に関する協約(平成24年10月1日締結)」に基づき行うこと

面接試験で「職に就くことになる」、「研修は乗車でもいいのか？」は希望を聞いてほしい！

●質問内容は面接の話なので控えたい。希望の確認は必要なので行っている。

○協約に則って運用すること、ライフサイクルの主旨は変わらないことを確認！

申1号交渉にて職場からの声を会社にぶつけた！
安全で働き甲斐のある職場を創るため、
今後も声を上げていこう！